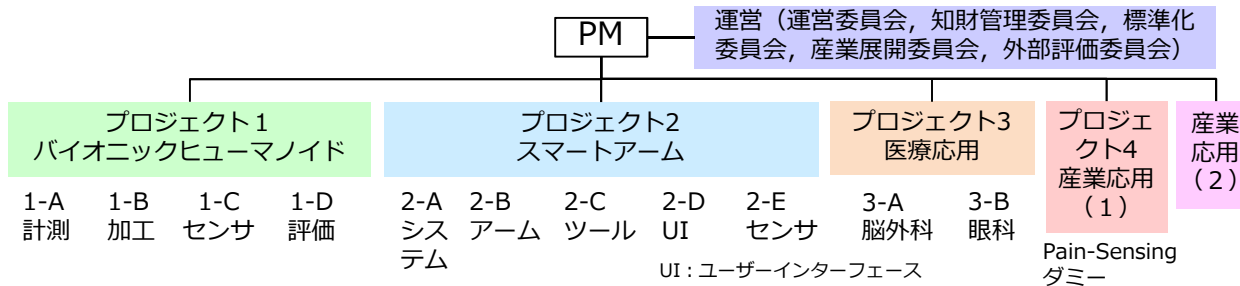




# 「バイオニックヒューマノイドが拓く新産業革命」

## 研究開発プログラムの全体構成



### Pj.1 バイオニックヒューマノイド

感覚的に表現される臓器の特性を計測し、センサを埋め込んだ人工物で再現

### Pj.2 スマートアーム

産業用ロボットをベースに、人の近くで使えるような安全かつ知的な匠ロボットを開発

### Pj.3 医療応用

サンプル等の提供、試作品の評価と活用

### Pj.4 産業応用

人とロボットの接触時の、痛みや不快感等を評価できるPain-Sensingダミーを開発

### Pj.5～産業応用

公募または指名

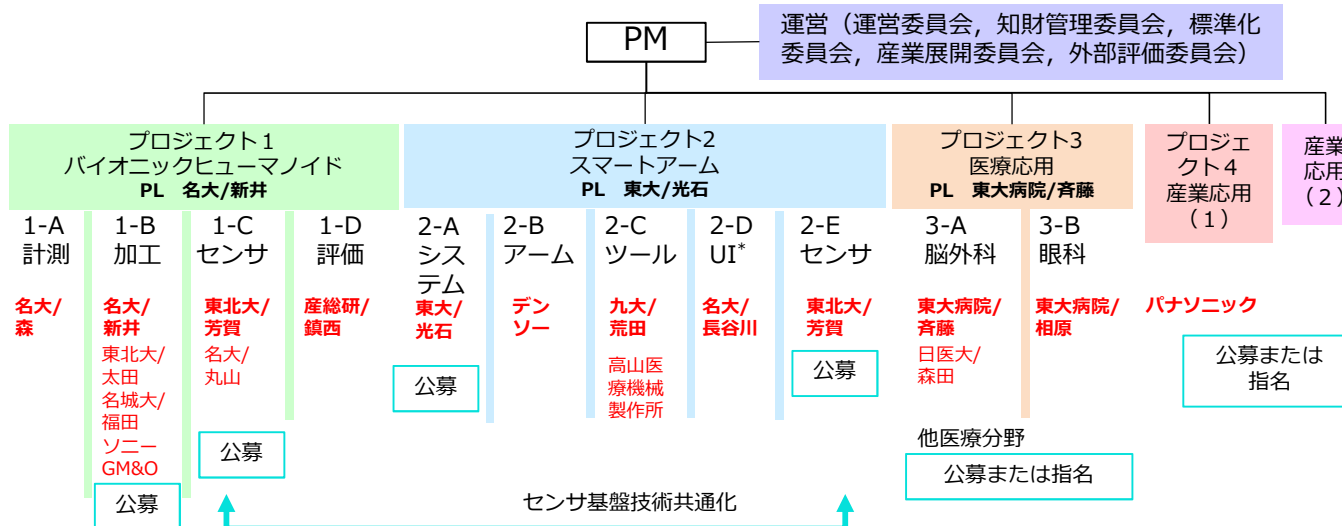


研究開発プログラム総額  
15億円

### 各克服すべき課題の実施時期



## PM自らのキャストイングによる実施体制



赤字: 開始段階に必要な体制, 太字: グループリーダー \*UI: ユーザーインターフェース

### ✓ 実施体制のポイント

- 工学系研究者, 医師, 企業の綿密な連携体制を構築する。
- PM, PM補佐, 及びPLを主参加者とする少人数の運営会議を行い, 迅速かつ柔軟な意思決定を行う。

### □ 機関選定の考え方

- 非公募指名: 世界トップの高度な技術を有し, 有力な原動力となる機関は指名する。
- 公募指名: 新規のニーズに対しては, 公募により広くアイデアを募集し, 適切な研究機関を採用する。